

contents

- 〈展覧会紹介〉スタジオジブリ・レイアウト展 [2~5]
- 〈イベント報告〉県立美術館名品200選 第4部 日本画への挑戦 破壊と創造 [6]
- 〈イベント報告〉狩野芳崖と四天王展・県立美術館名品200選展特別企画 [7]
- 美術館友の会 平成29年度秋の見学会 [8]
- 美術館喫茶室ニホ スペシャルメニューのお知らせ
- お知らせ

表紙：「もののけ姫」(部分) ©1997 Studio Ghibli・ND



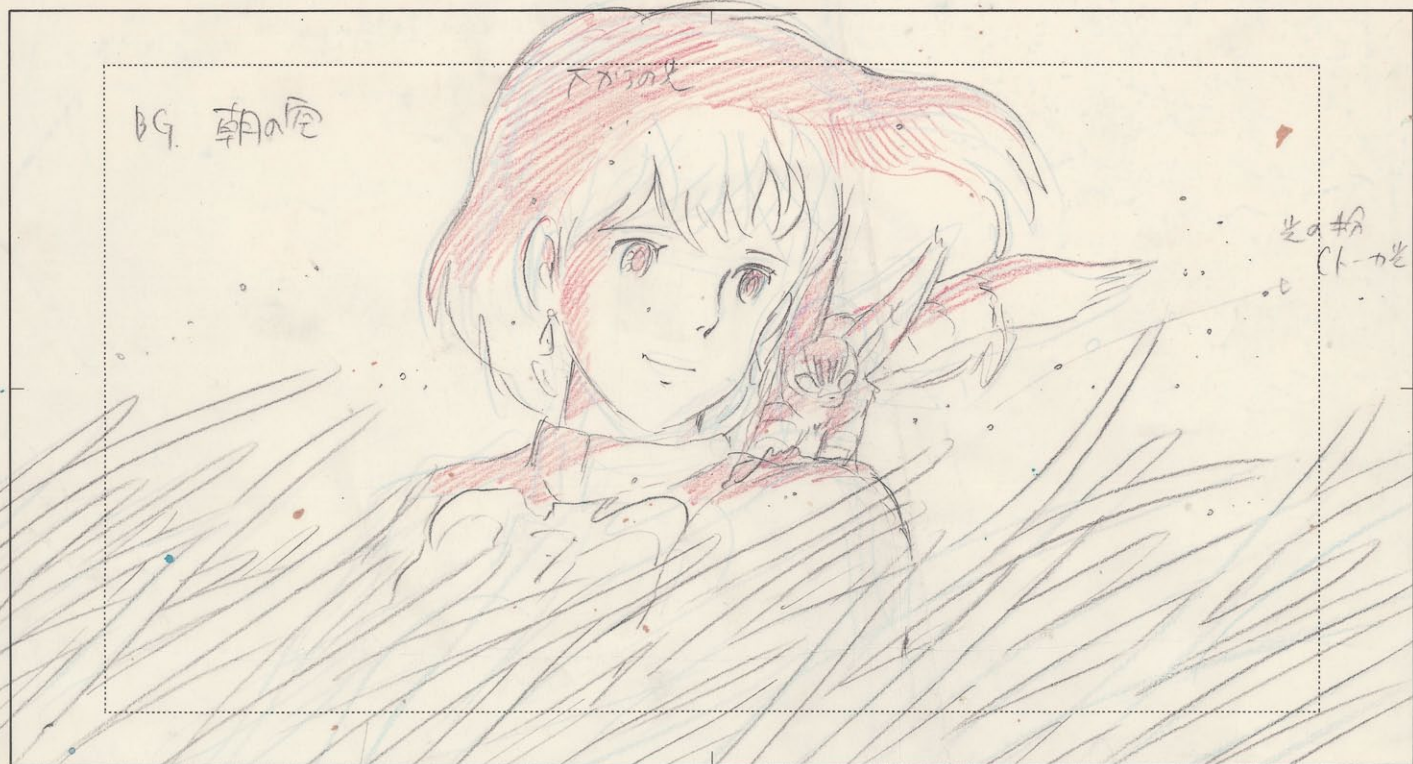
高畑・宮崎アニメの秘密がわかる。

スタジオジブリ レイアウト展

その誕生から
「思い出のマーニー」まで

TOPCRAFT CO.,LTD.

S. C.1544 TIME()



草の中に線入る...

幸安線 01544000 (トカ先)
先の本 2枚 1枚画 フラワーと 海や川...

【風の谷のナウシカ】©1984 Studio Ghibli-H

2017 12.8 金
▼
2018 3.11 日

休館日●12月31日(日)、平成30年1月1日(月・祝)、1月29日(月)、2月19日(月)
開館時間●午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)※12月8日(金)は午前10時～
観覧料●一般1400円(団体1200円)、高校生800円(団体600円)、
中小生500円(団体400円)※団体は20名以上 ※学生の方は学生証の提示が必要
※障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は半額
当日券販売所:福井県立美術館、えちぜん鉄道(福井駅、田原町駅、その他一部有人駅)
コンビニ端末:ローソン 0570-000-777(Lコード:59555)※当日券販売
主催●スタジオジブリ・レイアウト展実行委員会(福井県立美術館、FBC福井放送)
企画制作協力●スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館
協力●エプソン販売、ウォルト・ディズニー・ジャパン
後援●福井新聞社、北日本放送、テレビ金沢 協賛●スタジオアリス、JVIS、オーイング

北陸初開催!

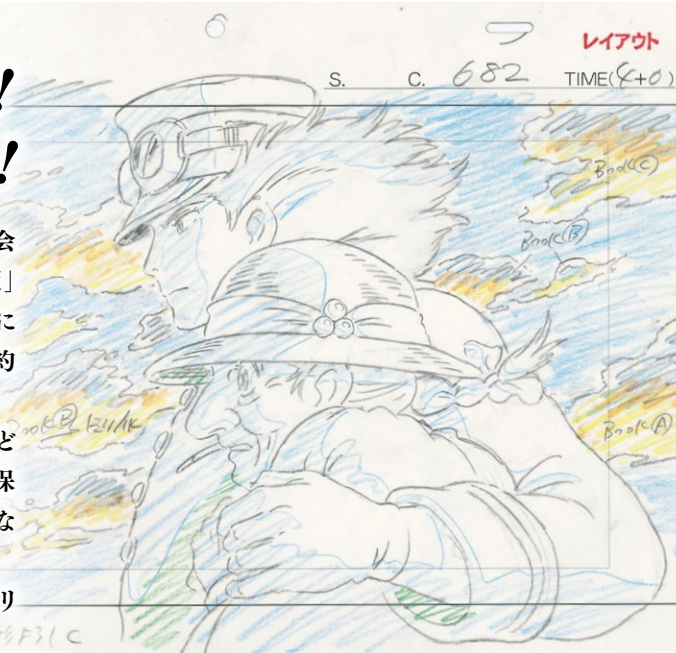
“スタジオジブリ”が福井にやってくる!

高畑・宮崎アニメの秘密に迫る! 約1400点のレイアウトを大公開!

高畑勲・宮崎駿両監督が築き上げてきた世界を代表するアニメーション制作会社・スタジオジブリ。本展では、「風の谷のナウシカ」(1984年)、「もののけ姫」(1997年)、アカデミー賞受賞作の「千と千尋の神隠し」(2001年)、ジブリ以前に手掛けた「アルプスの少女ハイジ」(1974年)、「未来少年コナン」(1978年)など約1400点のレイアウトを公開します。

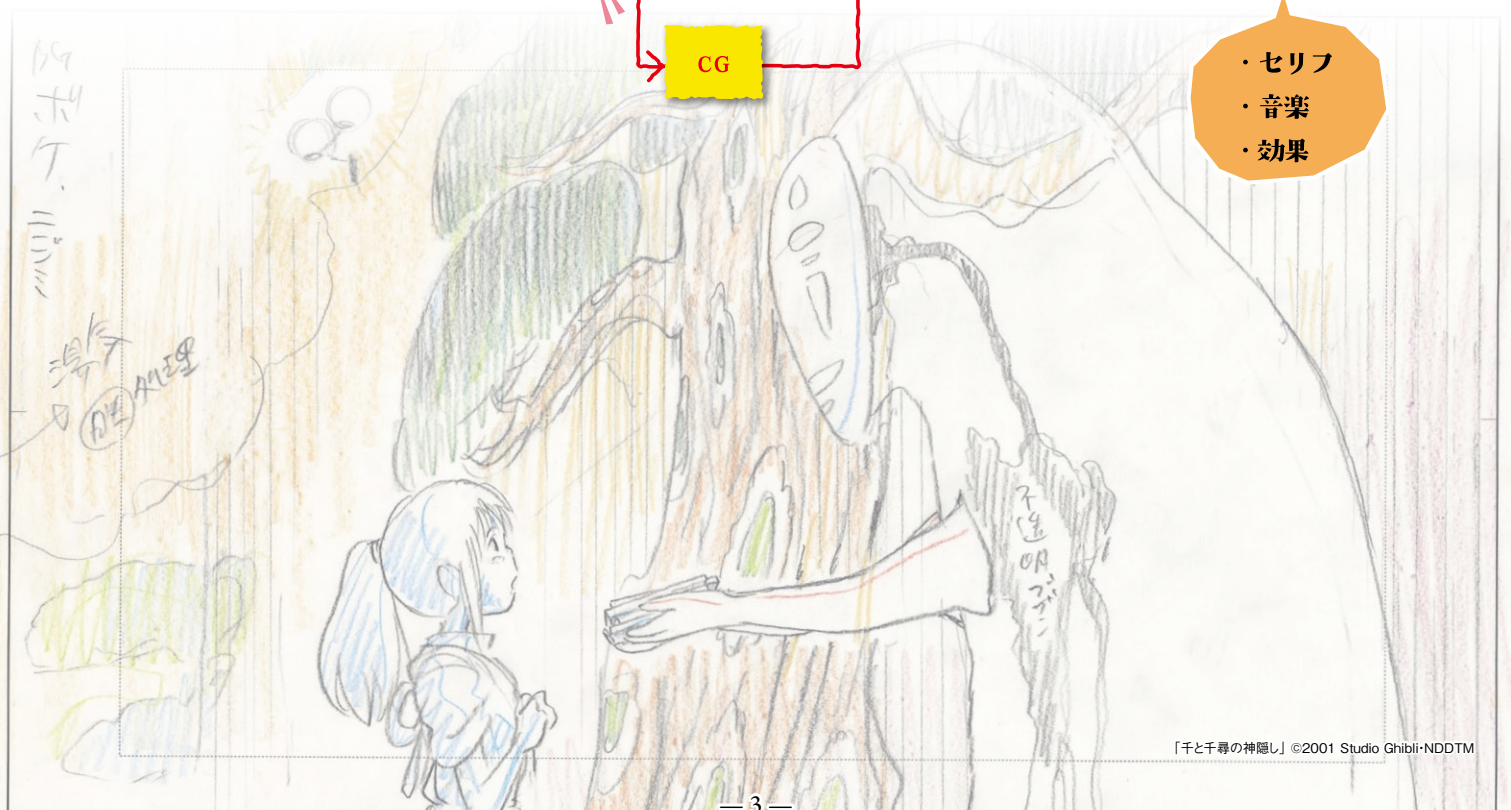
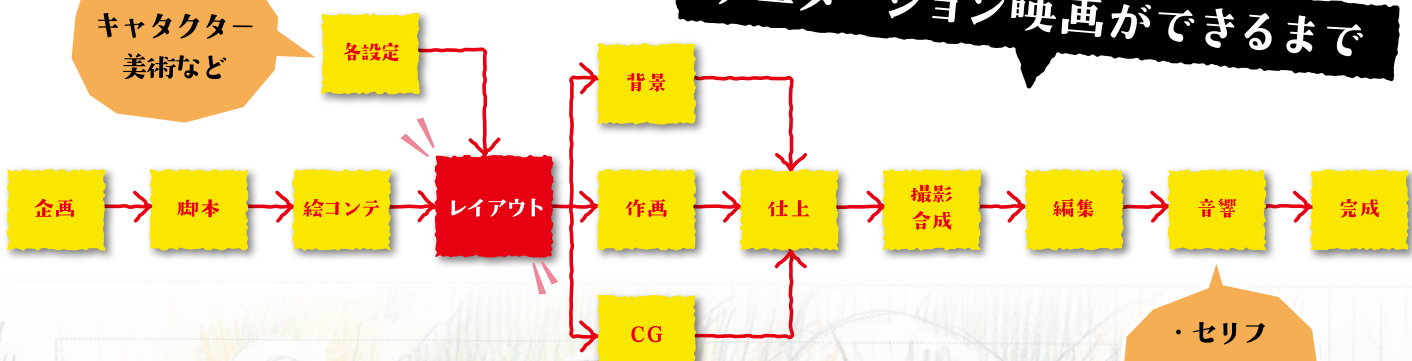
今回ご紹介する「レイアウト」は、1枚の紙にキャラクターや背景、カメラの動きなど場面のすべての要素を詰め込んだ、いわば「映画の設計図」。作品の統一感を保つ上で重要な役割を果たし、そこにはキャラクターの疾走感や躍動感、映画的な空間構成までもが表現され、作り手たちのイマジネーションにあふれています。

アニメーションの魅力が詰まった「レイアウト」を読み解きながら、スタジオジブリ作品の秘密に迫ります!



「ハウルの動く城」©2004 Studio Ghibli-NDDTM

アニメーション映画ができるまで



「千と千尋の神隠し」©2001 Studio Ghibli-NDDTM

スタジオジブリ作品の歴史

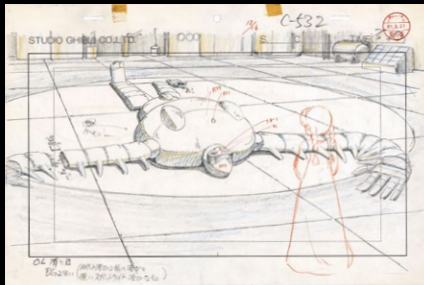
1984 1986 1988 1989 1991 1992 1993 1994 1995 1997 1999

「風の谷のナウシカ」



「風の谷のナウシカ」© 1984 Studio Ghibli・H

「天空の城ラピュタ」



「天空の城ラピュタ」© 1986 Studio Ghibli

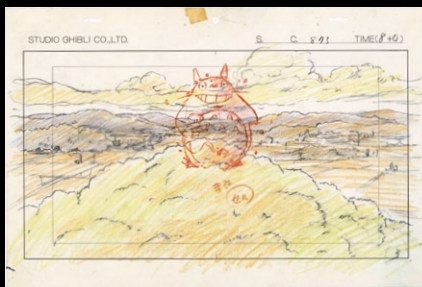
「火垂るの墓」
「となりのトトロ」

「魔女の宅急便」



「魔女の宅急便」© 1989 角野栄子・Studio Ghibli・N

「おもひでぽろぽろ」



「となりのトトロ」© 1988 Studio Ghibli

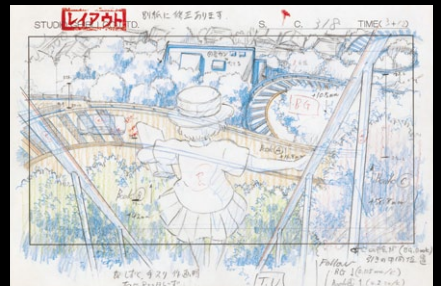
「紅の豚」



「紅の豚」© 1992 Studio Ghibli・NN

「海がきこえる」

「平成狸合戦ぽんぽこ」



「耳をすませば」© 1995 柊あおい/集英社・Studio Ghibli・NH

「耳をすませば」

「もののけ姫」



「平成狸合戦ぽんぽこ」© 1994 畑事務所・Studio Ghibli・NH

「ホーホケキョとなりの山田くん」

関連イベント

座談会

●2/24(土) 14:00～(開場/13:30)

講師/田中千義氏(スタジオジブリ/会長室 イベントプロデューサー)
西岡純一氏(スタジオジブリ/広報部・部長)

〈当館講堂〉参加料無料 事前申込不要(当日直接会場へ)

見どころ解説会

●会期中土曜日 10:30～約20分間

(ただし各月の最終土曜日を除く)

※都合により中止になる場合があります。

※上記開催日時以外にも追加開催する場合があります。※詳細はHPをご覧ください。

講師/当館学芸員(西村直樹)

〈当館講堂〉参加料無料 事前申込不要(当日直接会場へ)

講演会

●1/20(土) 14:00～(開場/13:30)

講師/井上直久氏(画家・イラストレーター・スタジオジブリ作品背景作家)

〈当館講堂〉参加料無料 事前申込不要(当日直接会場へ)

映画上映会

●12/24(日)「もののけ姫」①10:00～ ②14:00～

2/11(日)「千と千尋の神隠し」①9:50～ ②12:20～ ③14:50～

(開場は各回10分前になります)

〈当館講堂〉参加料無料(展覧会観覧券の提示が必要です) 事前申込不要(当日直接会場へ)

2001 2002 2004 2006 2008 2010 2011 2013 2014 2016

「千と千尋の神隠し」

「猫の恩返し」

「ギブリース episode 2」

「ハウルの動く城」

「ゲド戦記」

「崖の上のポニョ」

「借りぐらしのアリエッティ」

「コクリコ坂から」

「風立ちぬ」

「かくや姫の物語」

「思い出のマーニー」

「レッドタートル ある島の物語」



「もののけ姫」© 1997 Studio Ghibli・ND



「崖の上のポニョ」© 2008 Studio Ghibli・NDHDMT



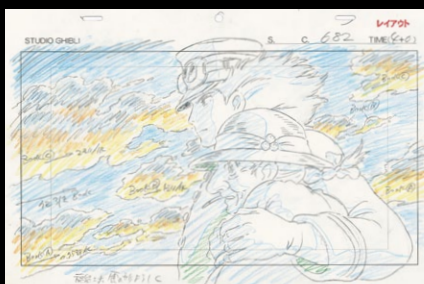
「かくや姫の物語」© 2013 細井事務所・Studio Ghibli・NDHDMTK



「千と千尋の神隠し」© 2001 Studio Ghibli・NDDTM



「風立ちぬ」© 2013 Studio Ghibli・NDHDMTK



「ハウルの動く城」© 2004 Studio Ghibli・NDDMT

体験型コーナー

スタジオアリス
来場記念
撮影会
(有料)



トトロ
ケーション

トトロの
おなかの上に乗ろう!



ポニョ
ロケーション

「ポニョ」をつかまえて
記念撮影!



「まっくろ
くろすけ」
コーナー

自分だけのまっくろ
くろすけを描いて壁
に貼ろう!



「千と千尋の神隠し」
千尋とカオナンと一緒に写真を撮ろう!
※開催日等詳細はHPをご覧ください。

開館40周年記念特別企画展 県立美術館名品200選

1977-2017
ANNIVERSARY

対談「横山操先生と私」

[日時] 平成29年9月16日(土) 午後2時～4時

[登壇者] 米谷 清和氏(多摩美術大学教授)

[聞き手] 佐々木 美帆(当館学芸員)

[参加人数] 60名



※同日午後5時30分から引き続き米谷清和先生をお招きして喫茶室ニホにて、トークサロン「画家・横山操について」を開催、22名のご参加がありました。

開館40周年を記念し、4部構成で当館コレクションと特別出品作を紹介してきた「県立美術館名品200選」。9月から開催の第4部では戦後日本画の風雲児と称された、日本画家・横山操を特集した。関連イベントでは横山操の晩年をよく知る米谷清和氏にその思い出を語って頂いた。ここでは、その内容の一部を紹介する。

横山操と加山又造 一自分が自分でいられる関係

一加山又造先生が唯一本音を言える相手が横山先生であつたのでしょうか。

それはお互いにそうでした。今の画壇は腐っている式でね、作り直したい、何かやろうと思ったときがあつたんですよ。でも川端龍子の青龍社の失敗というかな、1人だけだと駄目だつていうので加山先生を誘おうとしたのですが、加山先生が多摩美術大学へ勤め始めたばかりで、「才能が集まってない、もうちょっと待ちましょう」と止められたみたいなんです。そういう話を出来る間柄だつた。

横山先生が加山先生っていうのも珍しかったと思うんですね。というのは、日展とか院展のいろんな絵描きが当時横山操の近くに近寄つたと思うんです。加山先生は逆に絵描きが近寄らなかつた人です。間にいろんな絵描きが一杯いたのにお互い引き合つていうのは、正反對の部分があつて自分の持っていない良さをちゃんと主張してくれて、逆に片方に行くのを引き留めてくれる、という働きが働いたと思いますね。

一横山先生は「一度志をもつた人間は、下手でも何んでも、一所懸命やれば必ずそれなりによい絵が出来るものだ」[注1]と云い、加山先生は、米谷先生が書いていらしたように「『世の文化の流れを押し変える気力と天分が無い者は画家になる資格は無い。そのような絵描きがひとりでも育てばいい』と云い切り、その批評は鋭く冴えてかみそりの刃のようだつた」[注2]と、まったく逆の立場に立っていますね。

これは僕が学生時代に聞いた加山又造の言葉で、横山操と加山又造のその言葉は自分なりに記憶に残っています。横山操が亡くなったときに、それでも加山先生は多摩美に残られた。今まで2人でいたから加山又造は加山又造でいれたんですね。ところが先生が亡くなったときには、それは僕の邪推かもしれませんが、横山先生が生きていたらこうも言うんだろうなみたいな、2人分のことを考えられて、そういう意味で矛先はちょっと違つたように思います。時々学生を励ますことを覚えられた感じで、実際に学生の前で励ますようなことを言うことが多くなりました。

一自分が自分でいられたのは、お2人が揃つていたときなんです。

お2人が揃つていたとき、加山先生がいいって言つても、横山先生がその逆で、横山先生がいいって言つても加山先生が逆に切つて捨てるみたいな、お互い悪いところを辛辣に言い合えたと思いますね。横山先生が亡くなってから20年近く、僕は助手で残つて加山先生と一緒に学生を見ていたので、それがちょっとなくなった、その言葉の変化はすごく分かつていような気がしました。

同世代を作るなら同世代の友達を

僕は親戚が京都しかなくて、親が京都なら出てもいいということで、京都芸大を受けたんですけど、その当時学科で300人くらい受けて1次が通るのが30人、受かるのが10人。そういう時代で僕も学科で落ちま

して、だから実技の試験を受けていなかったんです。それで一応京都に行こうつてことで、京都へ行って絵を描いているうちに、どうも京都の絵描きさんの絵は僕には合わない。僕の好きな絵描きはみんな東京に住んでいるってということで、東京へ出ようつてことになった。それで横山操に会いたつて高校の先生に言つて、紹介してやろうかつて言われたけど「いや、僕が会いに行くから」「住所教えてくれ」つて、直接会いに行つたのが横山操との初めての出会いなんです。それは入学前なんです。

一いきなり会いに行かれたんですか？

そうですね。それで、描いた絵を何枚か持って行つたらちょっと興味持つてくれて、それでまた持っておいでつて、2、3回行くうちに、多摩美の先生やっているから出て行つたけど、もう先生と会えるようになったので美大は行かなくてもいいつて僕は話したことがあるんです。そしたらこれからの若い人は友達をつくりに大学へ行きなさい、やっぱり俺もそうだけど、先生はどうせ先に死ぬ、同世代を作るんだつたら同世代の友達を探しに行きなさいと。先生は売れっ子になつてからはともかく、大学を出ておられなかつたので、学んでいく途中で絵を描く友達、同世代を知る機会がなかつた。だから大学いった方がいいということも言われましたね。それで大学受けなおすことになりましたが、いい意味でも悪い意味でも受験勉強らしいことをあんまりしていませんでしたので、大学入つてみたら加山先生とかに割と気に入られましたね。というのは、大学入るための受験勉強をやらずに、物の見方がみんな似ちつて、大学入る人の絵がみな似ている。加山先生も横山先生も受験勉強らしい勉強をしないタイプで美大行けた人たち。それが物の感じ方とか物の説明の仕方とか、受験勉強とは違つて、本来デッサンはこうあるべきだ、みたいな感じのことを言つて、ちょっと励ましてくれたりしたこともあるかもしれないですね。

一予備校式のデッサンに皆染まってしまうと。

皆、似ちゃうんですね。物の取め方も。実は入つてみて、4月から5月、6月と、若い先生に習つたんですけど、僕のデッサンは絵も含めて「米谷君、これじゃ4年間もたないよ」つてずっと言われ続けた。それが良かったんですよ。悔しくて、一所懸命やつたのもあつたんですけど、同じ絵を、6月に横山、加山、上野泰郎つて先生が、「この子のデッサンはいいね」つて。だから同じデッサンが、人によって評価が変わるつていうのを経験しました。だんだん年取つていくとき、自分のレベルでしか人の絵とか物を見れないんだなということを感じましたね。だから同じ絵をいいつて言う人と、悪いつて言う人の違い、そういうのを体験して、必ずしも誰かに悪いつて言われたから悪いわけじゃない。一所懸命描いていれば、いいつて言う人に出会えるかもしれない、今はそういう励まし方をします。多分、僕が言うのも一つの価値観でしかないから、という言い方をします。

[注1] 『追悼特別展・横山操の回顧』1973年 山種美術館

[注2] 米谷清和「私記・横山操先生と私」『絵画新生の熱情 横山操 展』1993年 三鷹市美術ギャラリー

福井県立美術館開館
40周年特別企画展

狩野芳崖と四天王

9/15(金)▼10/22(日)

本展は狩野芳崖と4人の高弟「芳崖四天王」に初めて注目した展覧会です。忘れ去られた彼らの画業を掘り起し、多数の新出作品を紹介した本展は、多数の美術雑誌や各地方紙など様々なメディアに取り上げられ、県内外から多くの来場者を集めました。

●手塚雄二特別館長ギャラリートーク（展覧会会場）

[日 時] 9月15日(金)

●記念講演会（美術館講堂）

[日 時] 9月23日(土)

[演 題] 「近代日本画と西洋絵画」

[講 師] 三浦 篤氏（東京大学教授）

●特別対談（美術館講堂）

[日 時] 10月14日(土)

[演 題] 「芳崖四天王コトハジメ」

[登壇者] 塩谷 純氏（東京文化財研究所文化財情報資料部
近・現代視覚芸術研究室長）
椎野 晃史（当館学芸員・本展企画者）

●トークサロン「展覧会ができるまで」（美術館喫茶室ニホ）

[日 時] 10月1日(日)、15日(日)



手塚雄二氏



塩谷純氏

開館40周年記念特別企画 「^{ひととき}大人のためのアートな秋の瞬間 第1部 ～月下の美術館～」

●アートな秋の光のオブジェの設置
（美術館入口および屋外展示室）

[日 時] 9月22日(金)～10月3日(火)

[協 力] 福井大学明石研究室

●メロウな秋の夜長のハーモニー（屋外展示室）

[日 時] 9月22日(金)

①竹取物語（ショートバージョン）

～横笛と朗読

[出 演] 本 祿 和美氏

三木さち子氏

②アコースティックギター

弾き語り+二胡のコラボ演奏

[出 演] タカハシケンジ氏、小林寛明氏



②おとなの鑑賞クラブ【おとな美】

[講 師] 牧井正人氏

③秋の夜長に響く箏音色

[出 演] 佐々木敦子氏 ほか4名

●秋の気配その香りを感じて

（①美術館入口、②貸展示室）

[日 時] 9月24日(日)

①もてなしのお茶

[お点前]

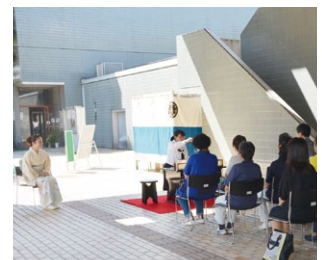
県立藤島高校茶道部員

②竹取物語（ロングバージョン）

～横笛と朗読

[出 演] 本 祿 和美氏

三木さち子氏



●月下の秋の調べ

（①屋外展示室、②貸展示室、③エントランスホール）

[日 時] 9月23日(土)

①月下ヨーガ（マインドフルネス・ヨーガ）

[講 師] 山川美保氏

●限定プレミアム秋の夜長ツアー ～芳崖が見た月～
（展示室・屋外展示室）

[日 時] 9月29日(金)

[講 師] 学芸員 椎野晃史

開館40周年記念特別企画 「^{ひととき}大人のためのアートな秋の瞬間 第2部 ～創造と模倣～」

●ワークショップ ミニ屏風をつくらう
（エントランスロビー）

[日 時] 10月14日(土)

[講 師] 内藤秀信氏

●秋の屋下がりによさしいえんぴつ写経（屋外展示室）

[日 時] 10月14日(土)

[講 師] 瑞源寺住職 花房禅佑氏

●大人のためのスケッチ会

本物の恐竜の骨を見て、さわって想像しながら描こう
気楽なスケッチ会

（エントランスロビー）

[日 時] 10月15日(日)

[協 力] 福井大学地質学教室



〈平成29年度 秋の見学会〉

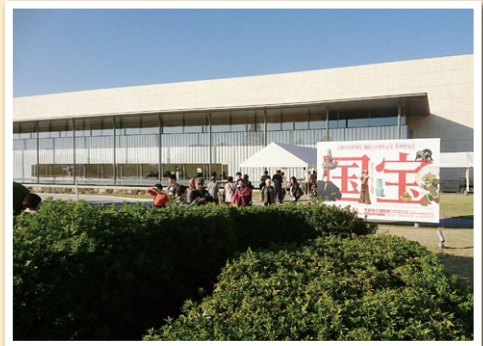
日時◎平成29年10月31日(火)～11月1日(水) 参加人数◎33名
 行き先◎姫路市立美術館「リアルのゆくえ展」、神戸市立博物館「ボストン美術館の至宝展」
 あべのハルカス美術館「北斎展」、京都国立博物館「国宝展」

恒例の友の会秋の見学会は、1泊2日の日程で関西方面の4つの展覧会を総勢33人で巡りました。

心配された台風に遭遇することもなく、快晴の空の下最初に訪れたのは、姫路市立美術館の「リアルのゆくえ展」です。明治から現代における写実表現の変遷を高橋由一「鮭」などの名作でたどることができました。また美術館からは、修復なった世界遺産姫路城の白く輝く天守閣を仰ぎ見ることも出来ました。次に姫路から神戸市へと移り、神戸市立博物館で「ボストン美術館の至宝展」を見学です。約50万点ものコレクションを誇る世界有数の美術館であるアメリカボストン美術館の、古代エジプト、中国、日本美術に、フランス絵画、アメリカ絵画など、東西の名品の数々を堪能しました。本展の目玉であるゴッホのルーラン夫妻の肖像画がやはり人気のような様子でした。こうして1日目の行程は終わり、その後は中華街で広東料理に舌鼓を打ち、また夜の街をそぞろ歩くなど、各自神戸の夜を楽しみました。

見学会2日目の午前中は、大阪のあべのハルカス美術館の「北斎展」です。開館30分前の到着ですすでに長蛇の列でしたが、浮世絵師葛飾北斎の世界をじっくりと鑑賞できました。この日は「諸国名橋奇覧 ちぢぜんふくみの橋」や当館から出品している「仙人春秋山水図」など、福井ゆかりの作品も見ることができたのは幸運でした。そして午後からは今回の見学会最大の目玉、京都国立博物館の「国宝展」です。教科書などで知られる名品の数々を一堂に鑑賞できるまたとない機会とあって、皆さん熱心に鑑賞していました。

こうして秋の見学会は無事終了しました。来年度も工夫を凝らした旅行をご用意しますので、ぜひご参加ください。



「国宝展」で名品の数々にうっとり！



姫路市立美術館前での記念撮影



スタジオジブリ・レイアウト展
 スペシャルメニュー

「まっしろしろすけ」

寒い冬にホッとひと息つける上品な
 甘さ。たっぷりの白玉やマシュマロと
 いちごの香りがすてきなお汁粉です。

Contact

美術館喫茶室 二ホ

[open] 9:00～19:00
 ※1/1～1/3は11:00～17:00

[closed] 月曜日(1/1は営業)
 12/29～12/31

tel: 0776-43-0310 *無料Wi-fi*
 〒910-0017 福井市文京3丁目16-1
 福井県立美術館 正面左手

*美術館が休館でも、
 月曜日以外は営業しております。

お知らせ

◎スタジオジブリ・レイアウト展期間中の開館時間変更について

上記展覧会期間中は、**開館時間を午前9時30分**とさせていただきます。
 なお閉館は従来通り午後5時(入館は4時30分まで)です。

◎2017年12月8日～2018年3月の休館日について

年末年始、館内メンテナンス、展示替え等のため、下記の日程は休館とさせていただきますのでご了承ください。
12月31日(日)、1月1日(月)、29日(月)、2月19日(月)、3月12日(月)～17日(土)、26日(月)～31日(土)

その他の展示・貸館情報 [2018/3/18～3/25]

- 3/18～3/25 ● 福井県立美術館実技講座受講生作品展
- 3/21～3/25 ● 福井県立美術館友の会実技講座受講生作品展
- 3/21～3/25 ● 福井県庁退職者連盟会員 第8回作品展